

# RESPONSE RING

## RESPONSE UP & TORQUE UP

この度は弊社製品＜RESPONSE RING＞をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はインテークダクトに装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高めるために制作された製品です。＊レスポンスリングは文中では＜リング＞と略して記載されています。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

**お願い！** 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合！ご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

**⚠ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

**⚠ 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

- ネジの締め忘れ、ダクトの吻合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。



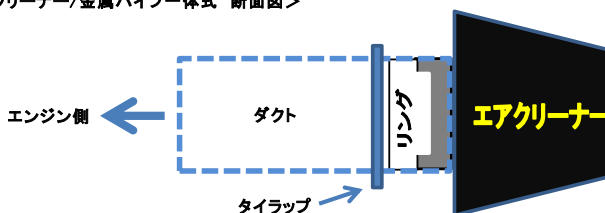
**注意**

●リングの戮力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。

**【取り付け方法】**

●コアタイプのエアクリナーには＜A：エアクリナー／金属パイプ体式＞と＜B：エアクリナー／ゴムブーツ体式＞があります。AとBで装着方法が異なりますので、どちらのタイプか？判断し取り付けをおこなって下さい。

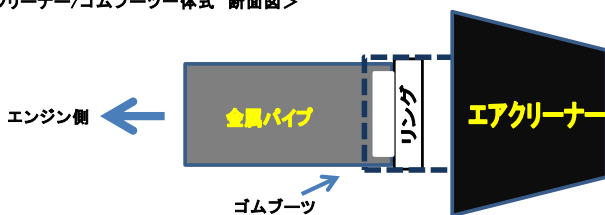
**<A:エアクリナー/金属パイプ体式 断面図>**



**<作業手順>**

- ①固定バンドを緩め、ゴムブーツとエアクリナーを切り離して下さい。
- ②リングをエアクリナー側へ装着して下さい。
- ③リングにゴムブーツが被さるように、ゴムブーツとエアクリナーを差し込み、固定バンドを付けて下さい。
- ④リングの脱着防止の為、ゴムブーツにタイラップを巻き、適切なトルクでタイラップを締めつけて下さい。

**<B:エアクリナー/ゴムブーツ体式 断面図>**



**<作業手順>**

- ①固定バンドを緩め、ゴムブーツとエアクリナーを切り離して下さい。
- ②リングを金属パイプ側へ装着して下さい。
- ③リングにゴムブーツが被さるように、ゴムブーツとエアクリナーを差し込み、固定バンドを付けて下さい。

**【使用上の注意点】**



**注意**

- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生する場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してから使用して下さい。
- エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。その場合はエアクリナーを新品に交換しカーディーラーにてエンジンチェックを消去してもらって下さい。

●本製品はNA車用に内径を設定してあります。ターボ車には適しません。

●車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。

**【MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用について】**

MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します

【類似品について】



- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。

【トラブルチェック】

＜リングの挿入ができない＞

- 装着部分のアルミのバリ等がある場合は、完全にバリ等を取り除きリングの装着をおこなって下さい。

＜アイドルリング不調＞＜エンジンチェック点灯、吹け上がらない＞

- エアフローメーターのカプラーが確実に挿入されているか？確認して下さい
- ダクトが確実に挿入されているか？確認して下さい。

＜高回転がノーマルより伸びない＞

- 本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

＜作業中のミス等にてエンジンチェックが点灯した場合＞

- ノーマル状態にて、(走行ーエンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。